

第 80 回分析化学討論会 一般公開シンポジウム

市民生活と分析化学，北の大地から

オーガナイザー：菅 正彦（北教大札幌校）・蠣崎 悌司（北教大札幌校）

趣旨 公害と呼ばれる社会現象が起き、それが環境問題と呼ばれるようになった現在まで、分析化学は環境保全のために貢献してきた。この一般公開シンポジウムでは、2020 年夏期オリンピックでマラソンおよび競歩の競技が開かれることとなった札幌で、過去に大気環境を守るために貢献してきた化学者の足跡の一部を紹介するとともに、未来につながる若い研究者を育てるための試みの一部を紹介する。

このシンポジウムによって一般の皆さんに化学，特に分析化学と環境の関わりに興味をもってもらうとともに、将来この分野で活躍できる人材が育つことを期待する。

日時 2020 年 5 月 24 日（日）13 時 15 分～14 時 55 分（引き続き同会場で高校生ポスター発表の表彰式を行います。）

会場 北海道教育大学札幌キャンパス（JR あいの里教育大駅から徒歩 20 分）

参加費 無料

趣旨説明

札幌のきれいな空を守った化学者たち—趣旨説明とともに—

（北教大札幌校）菅 正彦

依頼講演

1 化学物質を撮るカメラ

（豊橋技科大電気・電子情報工学系）服部 敏明

2 北見薄荷（ハッカ）の化学実験 —作る楽しさと知る楽しさ—

（東海大札幌教養教育セ）和泉 光則

※本公開シンポジウムへの参加は無料です。高校生，高等学校教員，保護者の皆様の参加も歓迎します。
なお，演題は変更する場合があります。